

鳥羽市地域公共交通会議会議録

会議の名称	平成 29 年度第 2 回鳥羽市地域公共交通会議バス幹事会
開催日時	平成 29 年 6 月 23 日（金）10：00～12：00
開催場所	鳥羽市民文化会館 3 階 中会議室
議題	1. あいさつ 2. 協議事項 (1) 平成 28 年度決算について【資料 3】 (2) 平成 29 年度予算（案）について【資料 4】 (3) 地域内フィーダー系統確保維持計画について【資料 5】 (4) 鳥羽市地域公共交通会網形成計画（案）について 3. 報告事項 (1) かもめバス利用状況統計について【資料 6】 (2) 三重県総合博物館（MieMu）での展示について【チラシ】
会議資料	【資料 1】 席次表 【資料 2】 委員名簿（バス幹事会） 【資料 3】 平成 28 年度鳥羽市地域公共交通会議決算 【資料 4】 平成 29 年度鳥羽市地域公共交通会議予算（案） 【資料 5】 地域内フィーダー系統確保維持改善計画 【資料 6】 平成 28 年度かもめバス利用状況統計 【チラシ】 企画展～みんなののりもの大集合～
公開・非公開の別	公開
傍聴人の数	0 人
出席委員	立花会長、加藤委員、小出委員、野間氏（富永委員代理）、今井委員、榎委員、名古委員、小寺委員、小磯氏（世古口委員代理）、村林委員、山本氏（中垣内委員代理）
オブザーバー	なし
欠席委員	中村委員、中林委員、板谷委員、清水委員、岩本委員
事務局	定期船課 中井、野呂、大矢
<p>1. 開会</p> <p>○中井事務局長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開会 ・配布資料の確認 <p>○中井事務局長</p> <p>6 月 2 日に副市長が新たに就任したことに伴い、市長が当会議の会長として改めて新副市長を指名しておりますので、よろしくお願ひいたします。それでは開会にあたりまして、本会の会長となった立花副市長からご挨拶申し上げます。</p> <p>○立花会長挨拶</p> <p>みなさん、おはようございます。</p> <p>本日は、地域公共交通会議バス幹事会にご出席いただきまして、ありがとうございます。</p> <p>日頃は、バス事業にご理解とご協力をいただきまして、また、交通事業の多岐にわたりご支援いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>あらためまして、この 6 月 2 日に着任いたしました副市長の立花でございます。新参者の私がこの会議の会長の職を賜り、本日から議長を務めさせていただくこととなりますが、どうかよろしくお願い申し上げます。</p> <p>本日の会議におけるご討議の中心になろうかと思ひます「鳥羽市地域公共交通会網形成計画」につきましては、「第 2 次鳥羽市地域公共交通総合連携計画」に続くものとして、本市の公共交通を維持、確保し</p>	

ていくため、今後の取り組み方針を示す重要な計画でございます。

今回の計画策定においては、私は途中参加となりますが、皆様と一緒に、鳥羽市の今後の公共交通の望ましいあり方について考えていきたいと思っておりますので、まだ不慣れな点ばかりですが、今後ともご協力のほど、よろしくお願いいたします。

○中井事務局長

委員の出席、欠席について報告

今まで民生委員児童委員協議会からご参加していただいております中村委員が、この度自治会連合会会長になりました。これからは自治会連合会からの推薦となりましたが、引き続きご参加いただき、また、民生委員児童委員協議会からは新たに小寺広次委員がご参加していただくことになりました。小寺委員、よろしければ一言ご挨拶をお願いします。

(小寺委員挨拶)

○中井事務局長

ありがとうございます。今後ともよろしくお願いします。

3. 協議事項

(1) 平成28年度鳥羽市地域公共交通会議決算について

○大矢事務局員

資料3について説明

○野間氏(富永委員代理)

適正との監査報告

○立花会長

事務局の説明、監査報告をいたしました。ご意見・ご質問はありますか。

(意見、質問なし)

(2) 平成29年度鳥羽市地域公共交通会議予算(案)について

○大矢事務局員

資料4について説明

(意見、質問なし)

○立花会長

それでは、平成29年度地域公共交通会議予算(案)について、ご承認いただける方は挙手をお願いします。

(挙手全員)

○立花会長

ご承認ありがとうございます。

(3) 地域内フィーダー系統確保維持計画

○野呂事務局員

資料 5 について説明

○立花会長

事務局から説明いたしました。ご意見・ご質問はありますか。

○小出委員

事務局の説明に補足をさせてください。この計画は、表に書いてある運行経路に対して国から補助を受けるために提出していただいています。この補助制度は10月から翌年度の9月までを一年度としており、計画は6月までに協議会の場で、皆さんで内容を議論し、合意していただいたものを国へ提出してもらう必要がありますので、今日はそのため議論していただきます。

今年度は補助要綱の大幅な改正が予定されておりまして、その内容について調整がつかず6月に入ってやっと改正がなされました。しかし、もっと大きな部分については、いまだ調整中で、現在までのところ出ておりません。6月末までに出してもらう必要があります、今日ぎりぎりの審議となりご迷惑をかけておりますが、基本的にはこの後につけてもらう資料は、どういう系統を支援するかといった決まった資料ですので、他の部分は事務局に一任をして、今日は資料5の記載の中身を議論し、合意していただきたいと思います。議論の中心として、利用者等の意見の反映の部分に どうやって意見を吸い上げて、それを集約したうえで、見直しにつなげたのかをより具体的に書いていただきたいので、皆さんにはそこを中心に議論いただけたらと思います。

○加藤委員

昨年の二次評価の結果は前回報告していただいておりますが、それを踏まえて今年度の計画はどういう風に見直しをしていくかをいうことになります。二次評価の意見の全部を反映させる必要はありませんが、今回の計画にどう反映されていますか。

○大矢事務局員

二次評価の意見にあった中で、今回の計画に記載していないものはフェリーに関する部分です。

○加藤委員

生活交通と観光がありますが、本当は分けて考えて、観光客がどれくらい増えて、住民の方がどれくらい増えてということがわかればいいが、なかなかつかめない。それでもハッピーチケットや周遊券でそのあたりを押し量ることができる。そういったことをもうちょっと強調して、観光客や地域の皆さんにどれだけ使っていただけるかということに対して、もっと頑張っていこうという記載があってもいい。

もう一つは各路線についてきちんと見た方がよい。その際には重複があるので、ちょっとダイヤ改正があって便が前後するだけで変わってしまうので注意した方がいいですね。とはいえ、路線によって、地域によって特徴があると思いますのでそれぞれどういう施策を行っていくのか、そのようなことを考察して記載すればいいかと思います。フェリーについては網形成計画など全体のことなので、ここは確保維持改善計画なので、記載がなくてもよいかと思います。

○中井事務局員

地域公共交通会議の定量的な効果について、現在策定中の網形成計画の数値を採用すべきでしょうか。

○小出委員

それはまだ網計画が合意されていけませんので、前回の連携計画の数値でよいと思います。

○野呂事務局員

警察署として高齢者用のリーフレット等を作成する予定はありますか。

○名古屋委員

免許証返納の関係ではすでにリーフレットを作成しております。今後、市の方で作成する場合は、文言等の調整に応じさせていただきたいと思いますので早めに相談いただきたい。

○野呂事務局員

昨年度の1月下旬に老人クラブに対して、バスの乗り方教室開催の案内をさせていただいて、既に三か所で乗り方教室を行いました。バスに乗ったことがない方がほとんどでした。バスに関して教えてほしいという意見が多かった。離島でも広げていきたい。離島の方もほとんどバスに乗っていないと思いますので、そういう取り組みをしていきたい。

○加藤委員

ちなみに、先ほどバスに乗ったのですが、マリンターミナルで離島の方が15人乗ってきてびっくりしました。鳥羽駅、御木本生誕地東、市役所前で2~3人ずつ降りて行かれ、普段からそういう利用のされ方をしているのかなと思いました。

○大矢事務局員

1月の公共交通会議の中で意見をいただいて、4月のダイヤで変更した便で好評いただいています。

○加藤委員

そういう改善を着実にこなっているというのは書いてもいいと思う。

○今井委員

利用者の意見を聞いてダイヤを変更しました。そうしたらこんなに増えましたというはアピールできると思う。

○加藤委員

評価の時にアピールできますが、ここでもそういう改善をすでに行っているし、これからも行くことで増やすことができると記載することはできると思います。

○榎委員

乗り方教室というのは住民に広く行き渡っていると解釈していますか。なにかこのところ乗り方教室の開催が少なくなったように感じている。

○小寺委員

どこに止まって、どのコースに行くのかがわからない。そこから教えてもらえないといけない。

○野呂事務局員

免許証返納がクローズアップされてきたので、ぜひバスについて皆さん周知していただければと思います。

○今井委員

どこから乗るのか、なんのために乗るのかがイメージしにくい。

○野呂事務局員

加茂地区で話を聞くと、農作業をするので車が必要。でも家族からは乗らないように言われている。免許証を返したら買い物と病院へ移動するにはバスに乗るしかないというところもたくさんあるのでそういったところをご案内できたらと思います。

○中井事務局長

船からバスへの乗り継ぎの仕方を含めて、離島の方でも乗り方教室をやっていききたいと思います。

○小寺委員

乗り方教室で、路線や乗り方を教えていただいたら増えるかもしれない。

○加藤委員

それぞれの島別の定期船からバスへの乗り換えの時刻表はありますか。

○大矢事務局員

あります。離島側の待合所にも掲示してあります。

○加藤委員

それがちゃんと皆さんに周知されて、それで一回練習すると思ったより便利と思ってもらえる。分かってもらえれば、使いやすいのではないかと思う。今日実際に見てそう思った。ただし、ハローには入りませんと何度もアナウンスしていた。それを聞くとハローに入るほうがよいのだろうなと思った。たぶんお客様から聞かれているのでしょうか。

○大矢事務局

加藤委員が乗っていただいたのは国崎線。ダイヤ改正前はハローに行っていたのがダイヤ改正後は行かなくなったので問い合わせが多いのだと思います。

○中井事務局長

ハロー駐車場の中には小型の車両しか入れない。しかし、国崎線の利用者が多いので大型の車両に変えたことで、ハローに入れなくなった。

○榎委員

市民の森バス停に行くのに信号を待つのが長い。だからハローの中に入ってほしい。だんだん歳をとると歩きたがらない。

それともうひとつ、中之郷棧橋のところにバスが入ってくるかのようなサインがあります。中に入ってもらうのが一番いいが、難しいなら消さないと利用者はあてにしてしまう。

○名古委員

国崎線で鳥羽警察署の前にバス停がない。免許証の返納に行きたいが車で行っていいかという問い合わせがあります。当然返納後は免許がないわけで公共交通機関を利用するわけですが、松尾駅口までない。路線の見直しの時に、バス停留所の設置について検討いただければと思います。

○加藤委員

前回その話があったので、現地を見てきました。警察署の場所は交差点の南ですね。今の松尾駅口、加茂小学校前は遠いので、その間で信号の北ぐらいに警察の許可があれば新設できるのではないかと思います。道路的にはあまり問題がないので、長期的というか近いうちの実現できるのではないかと思います。

○今井委員

警察の敷地の中にバスを入れてもらえないのですか。

○名古委員

他の地域ですが、四日市北警察署が移転に合わせて、バス会社と相談をして構内に入ってもらうことを含めてバス停の新設を検討しているという話を聞いています。当署の敷地内においても可能性の問題として検討を行ったが、国崎線はマイクロではないので難しい。案の状態になっています。

○榎委員

駐車場の中に専用のスペースを作ってもらいたい。

○名古屋委員

意外に駐車場のスペースは狭い。警察署前でなくても、警察署の200m以内につくっていただければと思う。

警察署の前から最寄りの横断歩道まできちんと歩いてもらえるかという問題もあります。警察署の前を横断して事故にあうことになるかもしれない。警察署の前に横断歩道を設置することも、基準があつて難しい。工業団地への入り口周辺ですとありがたいです。

○榎委員

警察の方で、免許返納者は公用車で送ってもらうのはどうか。

○今井委員

タクシー代を警察で出すのはどうか。

○名古屋委員

予算面、安全面で難しいですね。

○山本氏（中垣内委員代理）

私も止めるところがないかと現場を見てきましたが、バスのポケットが必要かなと思いました。結局は警察の意見が最優先される場所です。

○村林委員

道路管理者としてバスレーンを設置することになれば、予算はなんとかなる可能性もありますが、皆さんの協力のもと用地を提供していただく必要があります。

また、警察署の中にスペースを作ることについては、狭いなら間口を広くして、植栽など駐車場の枠を取って全部ラインに変えれば中で旋回できる。バスレーンを作るよりもそっちの方が安くすむと思う。

○立花会長

高齢者社会なので道路の中に余裕を持たせていかなければならない。田舎ほど余裕がいります。バスについても道路の幅員が狭い中では難しい。高齢者のドライバーのことを考えても同じ。そういう観点で考えていく必要があると思います。このような話は大事な話だと思います。

（以上で意見なし）

○大矢事務局員

期限がありますので、なかなか集まってもらうのは難しい。もしかすると期限後になってしまうかもしれませんが、今日の意見を受けて計画を修正させてもらって、委員の皆様には送付しますので確認をお願いします。

○小出委員

修正するというのであれば若干遅れても大丈夫です。

○立花会長

地域フィーダー系統確保維持計画について、そのような方法で修正して提出させていただくことにご承認いただける方は挙手をお願いします。

(挙手全員)

○立花会長

ありがとうございます。

(4) 鳥羽市地域公共交通網形成計画(案)について

○中井事務局長

鳥羽市公共交通網形成計画(案)について説明。

前回から修正した点を説明。

○立花会長

事務局から説明いたしました。疑問点、修正箇所、ご意見・ご質問等がありますか。

○小出委員

29pで実施主体について、具体的なものを簡略化した記載に変えておりましたが、戻していただきたい。より具体的な実施主体にする必要があります。

○加藤委員

ここは本当に誰がやるかを書かなければならない。例えば行政と書いてあれば、行政の誰ですかとなります。名前が書いてある主体がやるという、そういう計画なのでぼやかしたら意味がなくなる。

○中井事務局長

そうしましたら29p以降の実施主体に関しては前回のように戻します。

○小出委員

知らないよと言われないように、記載にあたっては、記載される実施主体と調整を行ってください。

○加藤委員

例えば32pの高齢者運転免許証返納について、実施主体は行政となっていますが、こういうところに警察の名前があった方がいい。行政だけでは誰かがわからない。具体的には警察で高齢者講習でアピールできたであるとか、あとで計画を遂行できたか評価できます。できる限り具体的に。

○小出委員

30p以降の事業の内容について、可能な限り具体的に何を実施するのか書いていただきたい。そういう風にしてあるところもありますが、もやっとしているところもありますので確認していただきたい。

個別事業ごとにいつというのが41pにリンクしてわかるようにしていただきたい。41pの線の表記についても色分けするなどして検討期間や実施する時期がわかるように可能な限り具体的に記載していただきたい。今実施しているものは、矢印が伸びていてもいいですが、そうじゃないものは今年度検討して、来年度実施するという形で表記をしていただきたい。

○野呂事務局長

広報でいうところの5W1Hですね。

○小出委員

それをやっていただくと評価の時に、今年度は何をやらなければならなかったけれど、年度末にこれだけのことができた。できていない。やった結果の評価がしやすくなります。

あとは38pに具体的にどういう風を実施していくのかを書いてほしい。平成32年度に最後全体の最終評価を実施したうえで、次の計画をつくるという流れになると思いますが、毎年PDCAを行うのか、そのあたりをより詳細に、この場でどういう風にやっていくのかを書いていただきたい。

○中井事務局長

38 p は、かもめバスの路線の評価方法ですが、36 p に示した目標数値をどういう風に評価するのかということに記載していくということですね。

○小出委員

前回の連携計画でも記載があると思います。また他市の計画を参考にさせていただいて、鳥羽市にあった評価方法を事務局の方で決めて、書いていただきたい。評価をしやすくするためにも、事業をいつから実施するのかをスケジュール表にまとめていただきたい。今何をやらなければならないのか、それができたのか、できなかったのか、やった結果どうだったのかを評価しやすくなります。それを明確にするためにも実施スケジュールをきちんとまとめてほしい。

○中井事務局長

前回加藤先生が言われたように、4月に異動してきた職員が何をやらなければいけないかがすぐにわかるということですね。

○小出委員

今日報告していただいた予算、決算と合わせて、事業報告も毎年度していただければと思います。

○加藤委員

要は、今回の地域公共交通会議で何をやるのか 事項書自体が書いてあるようなものですね。6月であれば決算とか予算とか確保維持改善計画とか、必ずあるものなので、そのデータをいつまでに集めておいた方がいいのかという風に、1年間のスケジュールが決まってくる。それを書いておけばいい。

7. 3に書いてある内容とスケジュール表に書いてある内容が少し違う部分がある。番号を付けておけば、対応ができるのでわかりやすい。評価も表で見るとわかりやすいし、忘れにくいと思います。

○野呂事務局長

工事現場の工程表みたいなものですね。

○小出委員

取り組む事業について、行政主体の事業ばかりになっています。皆さんで計画を作って皆さんで事業に取り組むことになります。いろんな参加機関の方がいますので、この地域を盛り上げるため、ぜひとも皆さんから意見をいただいて住民主体の事業が一つでも入るといいんじゃないかなと思います。

○今井委員

フェリーを使つての渥美半島との物流が最近途絶えているといわれていますが、でも商工会議所青年部がイベントをしていたんですね。そういう内容は、市民が盛り上げるイベントの一つになるんですか。

○小出委員

通ずるものであればいい。今やっているもので、市民が協力してやっていますよ、参加してお手伝いしますよというものがあれば、内容に付記して実施主体に住民と入れていただければいいと思います。バス停の近くを掃除するであるとか。そういうのもいいと思います。

○今井委員

そういうのですとけっこうやっているんじゃないですか。

○小出委員

やっているのであれば、アイデアをいただいて書いていただければいいと思います。

○野呂事務局員

例えば、市内に海島遊民クラブという団体がありますが、関西の就学旅行を連れてきて、チャーター船で離島を体験させる事業をおこなっていますが、そういうのも入るんですか。チャーター船なのでだめでしょうか。

○加藤委員

路線バスや定期船を利用させていただいて何かをやるのであれば、十分可能だと思います。

○今井委員

町内会とかお掃除でもいいのであればやると思います。一般市民の方がお掃除をすることもあります。そういうのもいいんですか。

○小出委員

マイバス意識を醸成するっていう言い方をしますよね。自分たちのバスを残すために、バス停を利用しやすくするために掃除したり、ベンチを置いたり。

○今井委員

お花を置いたり。ここの通りは商工会を含めて、きれいなお花を婦人会の皆さんがやってますよね。

○野呂事務局員

花いっぱい運動ですよ。

○今井委員

そのあたりを書かなきゃ。

○加藤委員

この会議自体が、上から降ってきたものを処理するのではなくて、公共交通の事を良くするために行動したいと思う人が集まって、俺はこれやる、お前はこれやれ、一緒にこれやろうということ全部集めて、こんなにうちは頑張ってるってこんなに増やしましたというのをやる場所なんですね。この計画はそれのリストで、市の中のありとあらゆる公共交通利用促進の取り組みがずらっと並ぶ。途中で思いついたものはどんどん入れていく。言っていたけどやっていないものはやれよという。それがPDCAサイクルです。今、独自にやっているものも、勧誘して、もっとやろうよというのもやっていかねばならない。

○小出委員

意識してやってないこともたくさんあるかもしれませんね。

○今井委員

ボランティア協議会でいろんなボランティア活動をしている方がいます。そういう人たちもそうやって考えると、公共交通機関を使って子どもたちをどこかへ連れていったというのがありますので、かなり活動していると思います。

○加藤委員

そういう方々にこの協議会から公共交通はこう変わったのでこういう風に使ってくださいとかの連絡をちゃんとしておく。そういうのをやらないと知らない間に使えなくなったりします。意見をいただくとか。なるべく集める。情報交換して大きい動きを作るのが大事なんです。それをどれだけ呼び起せるかという計画なんですよ。そういう意味では実施主体もいろいろあるといいな。

○今井委員

そこらへんについては事務局にいっぱい情報があるんじゃないですか。

○野呂事務局員

毎年開催される相差町内のマラソン大会も結構バスで来られる方が多い。

○加藤委員

イベント時のバス利用の喚起とかそういうことを書いておくといいですね。そういう発想があると面白が出てきます。

○今井委員

すごく大きいことをやらなくても、話を聞かせてもらおうと普段やっている実際やっていることでも、ここに書かせてもらえるようなこともやっているんだろうと思います。車は無理だから移動するのはバス。奥の方にいくと駐車するところないですからね。みんなバス乗ってくれますからね。

○小出委員

マラソン大会は、今は案内していなかったら、来年のマラソン大会のチラシにバスの事をいれてもらえればいいんじゃないですか。

○大矢事務局員

すでに周知しています。来年の大会に関しても、2月の開催に向けてポスターにもバスの事を記載してもらおうよう話をしています。大会主催者の方も、バスにどう乗ってきていただくのかというのをすごく考えてくれています。そういう風なことを記載していくということですね。

○加藤委員

前回の会議の時、文化会館の駐車場がいっぱいだったが、ああいうのも本来は公共交通で来てもらう策を考えていかなければならない。たぶんほとんど来てないでしょ。そうすると会議の開催のお知らせにバスで国崎なら何分で来れます。石鏡からだ何分で来れます。駐車場がいっぱいなので、バスで来たらどうですかというのを出しておく。そういうのも大事ですよ。

○野呂事務局員

税務課の確定申告とかイベントとかですね。石鏡港線でしたら牡蠣の感謝祭であるとか。

○加藤委員

中心市街地は駐車が難しいですからね。

皆さんもそういうのをやれそうな人を見つけていただいて、ここに名前を載せていただきたい。

○今井委員

ボランティア協議会は20名ぐらいがしっかり活動しているので、路線バスとか定期船を使っている内容を載せてもらえるといいかなと思う。

○野呂事務局員

松尾の老人クラブが、バスと船に乗って離島の老人クラブと一緒に離島でグランドゴルフ大会を開いているそうです。そういうのもいいんですかね。

○加藤委員

鳥羽の公共交通の売りは、航路とバスの連携がかなりできているところ。ほかの市町は全くできていない。全く別。それを生かして、本土と離島が交流をするというをどんどんやるのを大きな目標としてかかげるのはいいですよ。それが鳥羽市コミュニティ交通システムってことですよ。理想は、バス

も船もどっちも同じみたいになるといい。連続的で。水陸両用のようなイメージで。もうちょっと内容をリッチにしたほうがいいですね。

○立花会長

私達のバスという意識をもっていただいて、存続していくことができるように利用率を上げてもらって、そういう意識の醸成が大事だと思う。維持していくこともできませんし、皆さんの協力を得てやっていかなければならない。地域、団体に戻って、こんな話だったと伝えていただけたらいいと思いますのでまたよろしくお願いします。

○加藤委員

市役所の中でバスや船を使ってもっとできないかなと思う。一回レビューしていただけるといいなと思っている。あんまりそういうの念頭にないでしょ。

○大矢事務局員

そうですね。観光部局とは話しますが、他の部局とはあまり話しませんね。

○野呂事務局員

教育委員会が、毎年本土でやっていたウォーキング大会を離島でやる。そういうことは相談していません。

○加藤委員

かもめバスを使ってうちの部署で何をできるのかを考えてもらう機会をつくってもらえるといいなと思います。率先実行というのは大事。市役所としてもこれだけ努力している。市民の皆さんにもアピールできる。あんまり大きい自治体だとそういうことできない。例えば県庁であるとか。

○野間氏（富永委員代理）

基本的なところですが、会議の案内をした時に、会場までの具体的な公共交通の案内が欠けていることがあります。鳥羽市であれば、バスの時刻表も載せていただいて、公共交通で行く方法があるということアピールしていくといいかなと思います。他の自治体も同じですが、何に乗ったらいいかわからないし、時間にも間に合うかどうか、そのあたりがわからないのだと思います。

○野呂事務局員

役所に行くのに車でいくと駐車場がないということが多々あるので、それならばバスでという案内をしていかなければならないですね。

○立花会長

貴重な意見をいただきましてありがとうございます。皆様からいただいた意見を加筆修正させていただきまして、事務局で修正版を作成して再度配布させていただきたいと思います。後日ご審議いただくような機会を持たせていただけますでしょうか。

○加藤委員

これからのスケジュールはどうなりますか。パブリックコメントは考えていないのですか。

○大矢事務局員

たくさんご意見いただきましたので、計画を修正しましてもう一度会議を開催させていただきたい。パブリックコメントは、次回の会議でまとまった後に行いたいと思います。

○中井事務局長

パブリックコメントでいただいた意見を修正して、そのあとにもう一度開催したいと思います。

○立花会長

お忙し中、遠いところですが、よろしく申し上げます。次回の幹事会開催については改めて通知させていただきますのでよろしく申し上げます。

4. 報告事項

(1) かもめバス利用状況統計について

○大矢事務局員

資料6について説明。

- ・小浜ウイスタリアン線でバス停設置を検討している。

○立花会長

事務局から説明いたしました。ご意見・ご質問はありますか。

(意見、質問なし)

(2) 三重県総合博物館 (M i e M u) での展示について

○大矢事務局員

チラシ～みんなののりもの大集合～について説明

○立花会長

事務局から説明いたしました。ご意見・ご質問はありますか。

○野間氏 (富永委員代理)

M i e M uが直接各団体へお声かけをして実施されることになりました。この中で県の方でも閉会の前日の9月17日に鉄道のイベント「こんなにあるんだみえの鉄道展」を開催します。公共交通に乗ってもらうきっかけづくりということで、皆さんお出かけいただければと思います。

○今井委員

せっかく展示してもらうのに、この期間に鳥羽として何かやらないのですか。大きいイベントではなくて、定期船を使ったなにかイベントとかPRはしないのですか。

○大矢事務局員

現在のところイベントとしては考えていませんが、展示の中身の部分で実際に鳥羽の定期船に来た時にこういうところを見つけたらいいよ、船の中の一部分が珍しいので見るといいよねというような展示を最後にもってきて、実際に行ってみてみたいという展示を考えております。なかなか無い機会なので、アピールするチャンスだと思ってます。顔出しパネルも作っていただける話になっています。

○今井委員

特別チケットをその期間だけ出すとかを考えていただけたらと思います。

(以上で意見、質問なし)

○立花委員

事務局からの連絡は以上でございます。委員の皆様からなにかございませんか。

○大矢事務局員

一点追加で報告をさせていただきます。前回報告させていただいた市民の森バス停に設置するベンチ

について、前回会議後、小涌園から寄付していただきました。現在かもめバスカラーに色を塗って、近々設置予定です。

もう一点報告があります。相差町内会がかもめバスの用地停留所用地として土地を買って、トイレも作るという話があります。現在進行中ですが、今日は中村委員が欠席ですので私の方から報告させていただきます。

○今井委員

素晴らしい。それこそ協働。そういうのを計画に記載すべきですね。

○加藤委員

とてもいいですね。

○立花委員

実現がどうかかわからないですが、計画に入れられるといいですね。町内会と話をし載せてよいかを確認してください。

○大矢事務局員

実際は三重交通にも現場を見てもらっていますし、いつ整備をするかという段階です。

○加藤委員

告知をきちんとするといいですね。オープニングイベントをすとかね。

○今井緑委員

地元の人たちがそれだけやってくれているので、なにかの形でちゃんとイベントをやって、広報にも載せてやらないともったいないです。

○加藤委員

そういうのであればマスコミもきていただけますので大きくPRしていただける可能性もあります。日も選ばないといけないですが。とてもいいと思います。

6. 閉会

○立花会長

平成29年度第2回鳥羽市地域公共交通会議バス幹事会の議題について全て終了しました。それでは会議の進行を事務局に戻させていただきます。

○中井事務局長

本日は忙しい中どうもありがとうございました。これにて第2回鳥羽市地域公共交通会議バス幹事会を終了させていただきます。本日はどうもありがとうございました。